

コ	口腔解剖学・口腔解剖学実習（全身解剖学）（Oral Anatomy Lecture & Lab class）		
学年・期・単位	第2学年・前期・3.5単位	科目担当責任者	高橋 常男（人体構造学講座 肉眼解剖学・教授）
オフィスアワー	eメールにて受け付けるので、直接担当者へ連絡すること。	メールアドレス	松尾：masato@kdcnet.ac.jp、飯村：aiimura@kdcnet.ac.jp
一般目標（GIO）	<p>歯科医師として咀嚼・嚥下の正常機能を理解し、病態の回復とその歯科学および外科学的基礎として口腔の骨格、筋、脈管、神経の形態的特徴を修得する。口腔の構造について口腔粘膜と舌の構造を理解し、口腔を形成する骨格と筋系に加えてそこに分布する脈管神経系などの相互の位置関係を理解する。これらのことが口腔の生理機能を理解する上での基盤となり、臨床の第一歩であることを理解する。</p> <p>実習では、高齢化社会の進展に伴って歯科医師に求められる全身疾患の理解に必要な解剖学的知識を習得する。全身疾患を理解する為の基礎知識として、1年生解剖学において器官・臓器別に学習した人体の構造を人体解剖学実習によって立体的に把握し、相互の位置関係を理解する。尚、解剖学実習においては柴田昌和、金承革、森山浩志の3名の非常勤講師の協力により、その充実を図っている。</p>		

講義ユニット	一般目標（GIO）
1. 口腔の形態と構造	口腔の基本構造と機能を理解する。
2. 舌と唾液腺	唾液腺と舌の構造を理解する。
3. 咀嚼筋	咀嚼筋の構造と作用を理解する。
4. 表情筋と前頸筋	表情筋、前頸筋の構造と作用を理解する。
5. 下顎運動と顎関節	下顎運動に必要な顎関節の構造と作用を理解する。
6. 上顎神経	上顎神経の経過と支配域を理解する。
7. 下顎神経	下顎神経の経過と支配域を理解する。
8. 顔面神経	顔面神経の経過と支配域を理解する。
9. 舌咽神経、舌下神経、迷走神経	舌咽神経、舌下神経、迷走神経の経過と支配域を理解する。
10. 口腔に分布する神経	口腔に分布する神経の走行と分布域を理解する。
11. 外頸動脈の枝	外頸動脈から分岐する枝の走行と分布域を理解する。
12. 口腔に分布する静脈とリンパ	口腔に分布する静脈の走行と分布域を理解する。口腔のリンパの流れを理解する。
13. 口腔に分布する脈管	口腔に分布する血管の走行と分布域を理解する。
14. 上顎骨と口蓋骨	上顎骨と口蓋骨の形態と構造を理解する。
15. 下顎骨と舌骨	下顎骨と舌骨の形態と構造を理解する。
16. 背側の皮剥、上肢帯筋、広背筋	皮剥の方法と目的を理解する。 背側の皮神経とその頭尾側、内外側の分布、上肢帯筋の起始停止とその層構造について理解する。
17. 胸部、腹部、上肢、大腿前面	前胸壁の皮神経の分布と胸神経のつながりを理解する。 腹部の皮神経の分布とその椎間孔の高さとの関係を理解する。 大胸筋、小胸筋、腹直筋、側腹筋、前鋸筋を起始停止と機能を理解する。
18. 頸部の皮剥と頸神経、浅層の筋	広頸筋の広がり、頸神経、前頸静脈、外頸静脈の走行と分布を理解する。 舌骨下筋群の起始停止と層構成を理解する。 頸神経と胸鎖乳突筋の関係を理解する。
19. 顔面浅層と上腕に分布する皮神経	表情筋の形態的特長と相互の位置関係を理解する。耳下腺の広がりや耳下腺管と咬筋の位置関係を理解する。 顔面動脈、浅側頭動脈、眼窩下動脈、眼窩上動脈の走行と分布を理解する。 上腕の皮神経の走行と分布を理解する。
20. 腹壁前部と側部の筋 大腿前面の筋	側腹部の筋の層構造と神経の走行を理解する。 腹直筋鞘の構造と側腹筋との関係を理解する。 腹直筋の起始停止と支配神経を理解する。 縫工筋、大腿四頭筋、内転筋群の起始停止を理解する。 大腿三角の構成と大腿動脈、大腿神経の走行を理解する。
21. 深頸部と前頸部の筋・脈管・神経および咀嚼筋	斜角筋群の起始停止、斜角筋隙と腕神経叢、鎖骨下動脈との関係を理解する。 頸神経ワナと頸動脈、内頸静脈との関係を理解する。 咀嚼筋群とその相互の位置関係および機能を理解する。

講義ユニット	一般目標 (GIO)
22. 開胸と開腹	肋間筋群の相互の関係と肋間神経の走行を理解する。 内胸動脈の走行と筋との位置関係を理解する。 胸膜腔と胸膜および肺、心膜と心膜腔および心臓の関係を理解する。 腹膜と膈ヒダ、胎生期血管との関係を理解する。 元位置における胸腔内臓器、腹腔内臓器の相互の位置関係とつながりを理解する。
23. 胸腹部内蔵の摘出	肺と気管支、大血管、胸膜のつながりを理解する。 肝臓、脾臓と腹膜、消化管と腹膜、血管・神経のつながりを理解する。
24. 泌尿生殖器、摘出臓器	腎臓と腹膜の位置関係を理解する。尿管の走行と狭窄部を理解する。 膀胱、子宮、直腸の位置関係を理解する。子宮・卵管・卵巣のつながりと腹膜との位置関係を理解する。 胸腔、腹腔の個々の臓器の内部構造を理解する。
25. 胸腰筋膜、脊柱起立筋、腰方形筋、腸腰筋	胸腰筋膜、脊柱起立筋と脊柱、骨盤、肋骨との関係を理解する。 腰方形筋、腸腰筋と腰椎、骨盤、大腿骨との関係を理解する。
26. 上腕筋、腕神経叢、前腕筋、殿部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋	上腕三頭筋の起始停止を理解する。腕神経叢の神経根・神経幹・神経束とその枝の関係を理解する。 上腕・前腕の血管と筋の相互の位置関係と分布を理解する。 殿部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋の起始停止を理解する。坐骨神経の走行と分布を理解する。
27. 手の筋と前腕の筋 足の筋と下腿の筋	手部の骨と前腕の筋のつながりと作用、手の中の筋の位置とその作用を理解する。 足部の骨と下腿の筋のつながりと作用、足の中の筋の位置とその作用を理解する。
28. 脳	脳の主な外表面の構造を理解する。 脳の正中矢状断面の構造と脳室のつながりを理解する。 脳の前頭断面で皮質と白質、核の構造とつながりを理解する。 脳の血管、動脈輪、動脈と静脈の関係を理解する。
29. 総合復習	全身の脈管、神経のつながりを心臓、脳・脊髄を中心に理解する。 骨格筋を肩関節、肘関節、股関節、膝関節、手根関節、足根関節との関係で理解する。 内蔵を器官系毎に理解する。
30. 総括	これまでに観察、確認して来た人体の構造を実習体において説明できる。

教科書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
A 口腔解剖学	脇坂 稔・山下靖雄 [監修]	医歯薬
B 頭蓋モデル		輸入元パース株式会社
C 口腔解剖学ノート	高橋和人・野坂洋一郎 他著	学建書院

参考書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
口腔の解剖	高橋和人・野坂洋一郎 編	南山堂

評価法 (EV)
口腔解剖学講義は本試験 (客観試験 (50%))、口腔解剖学実習は実習試験 (客観試験 (50%)) の総合評価とする。 口腔解剖学、口腔解剖学実習それぞれ独立に合格点を得なければ本コースは合格とならない。

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	と 口 腔 の 形 態	口腔を構成する構造、区分を説明できる。	A P3~10、P85~96。パワーポイントにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1) F-2-2) 必6-B
2	4/6	肢 背 側 の 皮 剥、 広 背 筋、 上	1. 皮剥の方法と目的を説明できる。 2. 背側の皮神経とその頭尾側、内外側の分布、上肢帯筋の起始停止とその層構造について説明できる。	D P3~25。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A
3	4/13	舌 と 唾 液 腺	唾液腺と舌の構造、区分を説明できる。	A P229~239。C P83~94。パワーポイントにより解説する。	松尾雅斗	F-2-2)-①⑤⑦ 総 I-(I)-8-A 総 I-(I)-6-A
4	4/13	肢、 大 腿 前 面 胸 部、 腹 部、 上	1. 前胸壁の皮神経の分布と胸神経のつながりを説明できる。 2. 腹部の皮神経の分布とその椎間孔の高さとの関係を説明できる。 3. 大胸筋、小胸筋、腹直筋、側腹筋、前鋸筋の起始停止と機能を説明できる。	D P15~20。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,D
5	4/20	咀 嚼 筋	1. 咀嚼筋の構造と機能を説明できる。 2. 顎関節の構造と機能を説明できる。	A P159~163。C P26~28。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-② 総 I-(I)-9-C
6	4/20	神 経、 浅 層 の 筋 頸 部 の 皮 剥と 頸	1. 広頸筋の広がり、頸神経、前頸静脈、外頸静脈の走行と分布を説明できる。 2. 舌骨下筋群の起始停止と層構成を理解できる。 3. 頸神経と胸鎖乳突筋の関係を説明できる。	D P17~20。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(5)-① 総 III-2-A,F
7	4/27	頸 筋 表 情 筋 と 前	1. 表情筋の構造と機能を説明できる。 2. 前頸筋の構造と機能を説明できる。	A 220~250。C P25、29~31。パワーポイント、板書、頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-②⑤ 総 I-(I)-9-C
8	4/27	分 布 す る 皮 神 経 顔 面 浅 層 と 上 腕 に	1. 表情筋の形態的特長と相互の位置関係を説明できる。 2. 耳下腺の広がり耳下腺管と咬筋の位置関係を説明できる。 3. 顔面動脈、浅側頭動脈、眼窩下動脈、眼窩上動脈の走行と分布を説明できる。 4. 上腕の皮神経の走行と分布を説明できる。	D P 285~289、38~39。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,F
9	5/11	顎 関 節 下 顎 運 動 と	顎関節周囲筋の構造と機能を説明できる。	B 頭蓋骨モデルを用い、総合的な演習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-②⑤ 総 I-(I)-9-C
10	5/11	筋 大 腿 前 面 の 筋 腹 壁 前 部 と 側 部 の	1. 側腹部の筋の層構造と神経の走行を説明できる。 2. 腹直筋鞘の構造と側腹筋との関係を説明できる。 3. 腹直筋の起始停止と支配神経を説明できる。 4. 縫工筋、大腿四頭筋、内転筋群の起始停止を説明できる。 5. 大腿三角の構成と大腿動静脈、大腿神経の走行を説明できる。	D P94~104 プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-A,F
11	5/18	上 顎 神 経	上顎神経の経過と支配域を説明できる。	A P201~204。C P65~68。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
12	5/18	管・ 神 経 持 ち よ 咀 嚼 筋 深 頸 部 と 前 頸 部 の 筋 脈	1. 斜角筋群の起始停止、斜角筋隙と腕神経叢、鎖骨下動脈との関係を説明できる。 2. 頸神経ワナと頸動脈、内頸静脈との関係を説明できる。 3. 咀嚼筋群とその相互の位置関係および機能を説明できる。	D P26~39、279~289、317~323 プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-④ D-2-3)-(3)-③ 総 III-2-A,F
13	5/25	下 顎 神 経	下顎神経の経過と支配域を説明できる。	A P205~206。C P65~68。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
14	5/25	開 胸 と 開 腹	1. 肋間筋群の相互の関係と肋間神経の走行を説明できる。 2. 内胸動脈の走行と筋との位置関係を説明できる。 3. 胸膜腔と胸膜および肺、心臓と心膜腔および心臓の関係を説明できる。 4. 腹膜と膈ヒダ、胎生期血管との関係を説明できる。 5. 元位置における胸腔内臓器、腹腔内臓器の相互の位置関係とつながりを説明できる。	D P104~118。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-④ D-2-3)-(7)-② 総 III-2-A,F
15	6/1	顔 面 神 経	顔面神経の経過と支配域、線維構成を説明できる。	A P207~208。C P71~72。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 総 I-(I)-7-D-a

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	6/1	胸腹部内臓の摘出	1. 肺と気管支、大血管、胸膜のつながりを説明できる。 2. 肝臓、脾臓と腹膜、消化管と腹膜、血管・神経のつながりを説明できる。	D P118~120、128~129、138~143。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(3)-① D-2-3)-(6)-① 総 III-2-B,C
17	6/8	舌咽神経、迷走神経	舌咽神経、舌下神経、迷走神経の経過と支配域、線維構成を説明できる。	A P208~211。C P73~75、77~82。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-④ 総 I-(I)-7-D-a
18	6/8	泌尿生殖器の摘出臓器	1. 腎臓と腹膜の位置関係を理解できる。 2. 尿管の走行と狭窄部を説明できる。 3. 膀胱、子宮、直腸の位置関係を説明できる。 4. 子宮・卵管・卵巣のつながりと腹膜との位置関係を説明できる。 5. 胸腔、腹腔の個々の臓器の内部構造を説明できる。	D P176~184、159~177、120~139。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(9)-① D-2-3)-(10)-① 総 III-2-E
19	6/15	口腔に分布する神経	頭頸部周囲神経の構造と機能を説明できる。	B 頭蓋骨モデルを用い、総合的な演習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-④ 総 I-(I)-7-D-a
20	6/15	胸腰筋、膈筋、腸腰筋	1. 胸腰筋膜、脊柱起立筋と脊柱、骨盤、肋骨との関係を説明できる。 2. 腰方形筋、腸腰筋と腰椎、骨盤、大腿骨との関係を説明できる。	D P83~87、190~194。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
21	6/22	枝 外頰動脈の	外頰動脈前壁から出る動脈の走行、分布域を説明できる。	A P172~182。C P42~48。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
22	6/22	上腕三頭筋、腕神経叢、前腕の筋	1. 上腕三頭筋の起始停止を理解できる。 2. 腕神経叢の神経根・神経幹・神経束とその枝の関係を説明できる。 3. 上腕・前腕の血管と筋の相互の位置関係と分布を説明できる。 4. 殿部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋の起始停止を説明できる。 5. 坐骨神経の走行と分布を説明できる。	D P38~55。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
23	6/29	口腔に分布する静脈とリンパ	1. 口腔の静脈の特徴を説明できる。 2. 口腔のリンパの流れを説明できる。	A P183~194。C P51~58。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
24	6/29	手の筋と前腕の筋、足の筋と下腿の筋	1. 手部の骨と前腕の筋のつながりと作用、手の中の筋の位置とその作用を説明できる。 2. 足部の骨と下腿の筋のつながりと作用、足の中の筋の位置とその作用を説明できる。	D P57~73、218~226。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
25	7/6	口腔に分布する脈管	頭頸部周囲血管・リンパの構造と機能を説明できる。	B 頭蓋骨モデルを用い、総合演習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
26	7/6	脳	1. 脳の主な外表面の構造を理解できる。 2. 脳の正中矢状断面の構造と脳室のつながりを説明できる。 3. 脳の前頭断面で皮質と白質、核の構造とつながりを説明できる。 4. 脳の血管、動脈輪、動脈と静脈の関係を説明できる。	D P351~393。プリントを用いて解説を行う。	飯村 彰	D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-F
27	7/13	上顎骨と口蓋骨	1. 上顎骨、口蓋骨の構造を説明できる。 2. 浸潤麻酔術式の解剖学的裏付けを説明できる。	A P123~127。C P17。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-① 総 I-(I)-9-A
28	7/13	総合復習	1. 全身の脈管、神経のつながりを心臓、脳・脊髄を中心に説明できる。 2. 骨格筋を肩関節、肘関節、股関節、膝関節、手根関節、足根関節との関係で説明できる。 3. 内臓を器官系毎に説明できる。	臓器器官同定の基準をパワーポイントにより解説する。	飯村 彰	D-2-3) 総 III-2-A-H
29	7/20	下顎骨と舌	1. 下顎骨、舌骨の構造を説明できる。 2. 浸潤麻酔術式の解剖学的裏付けを説明できる。	A P128~131。C P18。パワーポイント、B 頭蓋モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-① 総 I-(I)-9-B
30	7/20	総括	これまでに観察、確認して来た人体の構造を実習体において説明できる。	実習体上に作成された問題に解答する。	飯村 彰	D-2-3) 総 III-2-A-H

実習ユニット	一般目標 (GIO)
1. 背側の皮剥、上肢帯筋、広背筋	基本的な解剖器具の使用方法を理解する。 皮剥の方法と目的を理解する。 背側の皮神経とその頭尾側、内外側の分布、上肢帯筋の起始停止とその層構造について理解する。
2. 胸部、腹部、上肢、大腿前面	前胸壁の皮神経の分布と胸神経のつながりを理解する。 腹部の皮神経の分布とその椎間孔の高さとの関係を理解する。 大胸筋、小胸筋、腹直筋、側腹筋、前鋸筋を起始停止と機能を理解する。
3. 頸部の皮剥と頸神経、浅層の筋	広頸筋の広がり、頸神経、前頸静脈、外頸静脈の走行と分布を理解する。 舌骨下筋群の起始停止と層構成を理解する。 頸神経と胸鎖乳突筋の関係を理解する。
4. 顔面浅層と上腕に分布する皮神経	表情筋の形態的特長と相互の位置関係を理解する。耳下腺の広がり耳下腺管と咬筋の位置関係を理解する。 顔面動脈、浅側頭動脈、眼窩下動脈、眼窩上動脈の走行と分布を理解する。 上腕の皮神経の走行と分布を理解する。
5. 腹壁前部と側部の筋 大腿前面の筋	側腹部の筋の層構造と神経の走行を理解する。 腹直筋鞘の構造と側腹筋との関係を理解する。 腹直筋の起始停止と支配神経を理解する。 縫工筋、大腿四頭筋、内転筋群の起始停止を理解する。 大腿三角の構成と大腿動静脈、大腿神経の走行を理解する。
6. 深頸部と前頸部の筋・脈管・神経および咀嚼筋	斜角筋群の起始停止、斜角筋隙と腕神経叢、鎖骨下動脈との関係を理解する。 頸神経ワナと頸動脈、内頸静脈との関係を理解する。 咀嚼筋群とその相互の位置関係および機能を理解する。
7. 開胸と開腹	肋間筋群の相互の関係と肋間神経の走行を理解する。 内胸動脈の走行と筋との位置関係を理解する。 胸膜腔と胸膜および肺、心膜と心膜腔および心臓の関係を理解する。 腹膜と膈ヒダ、胎生期血管との関係を理解する。 元位置における胸腔内臓器、腹腔内臓器の相互の位置関係とつながりを理解する。
8. 胸腹部内蔵の摘出	肺と気管支、大血管、胸膜のつながりを理解する。 肝臓、脾臓と腹膜、消化管と腹膜、血管・神経のつながりを理解する。
9. 泌尿生殖器、摘出臓器	腎臓と腹膜の位置関係を理解する。尿管の走行と狭窄部を理解する。 膀胱、子宮、直腸の位置関係を理解する。子宮・卵管・卵巣のつながりと腹膜との位置関係を理解する。 胸腔、腹腔の個々の臓器の内部構造を理解する。
10. 胸腰筋膜、脊柱起立筋、腰方形筋、腸腰筋	胸腰筋膜、脊柱起立筋と脊柱、骨盤、肋骨との関係を理解する。 腰方形筋、腸腰筋と腰椎、骨盤、大腿骨との関係を理解する。
11. 上腕筋、腕神経叢、前腕筋、臀部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋	上腕三頭筋の起始停止を理解する。腕神経叢の神経根・神経幹・神経束とその枝の関係を理解する。 上腕・前腕の血管と筋の相互の位置関係と分布を理解する。 殿部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋の起始停止を理解する。坐骨神経の走行と分布を理解する。
12. 手の筋と前腕の筋 足の筋と下腿の筋	手部の骨と前腕の筋のつながりと作用、手の中の筋の位置とその作用を理解する。 足部の骨と下腿の筋のつながりと作用、足の中の筋の位置とその作用を理解する。
13. 脳	脳の主な外表部の構造を理解する。 脳の正中矢状断面の構造と脳室のつながりを理解する。 脳の前頭断面で皮質と白質、核の構造とつながりを理解する。 脳の血管、動脈輪、動脈と静脈の関係を理解する。
14. 総合復習	全身の脈管、神経のつながりを心臓、脳・背髄を中心に理解する。 骨格筋を肩関節、肘関節、股関節、膝関節、手根関節、足根関節との関係で理解する。 内蔵を器官系毎に理解する。
15. 総括	これまでに観察、確認してきた人体の構造を実習体において相互に関連づけて理解する。

教科書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
D 解剖実習の手びき	寺田春水、藤田恒夫著	南山堂

参考書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
解剖学カラーアトラス	横地千仍	医学書院
グレイ解剖学アトラス 第1版	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン
グレイ解剖学 第1版	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン
トートラ解剖学 第2版	千田隆夫 他訳	丸善出版

評価法 (EV)
口腔解剖学講義は本試験 (客観試験 (50%))、口腔解剖学実習は実習試験 (客観試験 (50%)) の総合評価とする。 口腔解剖学、口腔解剖学実習それぞれ独立に合格点を得なければ本コースは合格とならない。

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	背側の皮剥	1. 基本的な解剖器具の安全な使用方法を説明できる。 2. 背側の皮剥の方法と目的を説明できる。 3. 脊髄神経の後枝、上肢帯筋、広背筋について説明できる。	D P3~25. 提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
2	4/6	上肢帯筋、広背筋	1. 背側の皮膚をメスを用いて剥くことができる。 2. 胸神経後枝、殿皮神経を剖出して説明できる。	皮下脂肪を体幹に付けて皮膚を剥ぎ、筋膜を観察する。 背側の皮神経の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
3	4/6	広背筋	僧帽筋、菱形筋、肩甲挙筋、広背筋を剖出して説明できる。	上肢帯筋、広背筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,F
4	4/13	胸部、腹部	1. 肋間神経の前皮枝、外側皮枝の説明ができる。 2. 胸腹壁静脈、浅腹壁静脈、胸腹壁静脈の説明ができる。	D P15~20. 提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-D,F
5	4/13	上肢、大腿前面	頸部、胸部、腹部、肩・上腕、大腿前面の皮剥ができる。	頸部、胸腹部、上腕、大腿の前面の皮剥をし、筋膜を観察する。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,F
6	4/13		1. 肋間神経の前皮枝、外側皮枝を剖出し説明できる。 2. 胸部、腹部の皮静脈を剖出し、そのつながりを説明できる。 3. 大胸筋、小胸筋、腹直筋、側腹筋、前鋸筋を剖出し、説明できる。	体幹皮神経、皮静脈の剖出と観察をする。 胸部と腹部の前面および側部の筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,F
7	4/20	頸部の皮剥と頸神経	1. 頸部の皮膚と広頸筋の位置関係が説明できる。 2. 外頸静脈、頸神経の走行・分布を説明できる。	D P17~20 提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員 金 承革、森山浩志	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(5)-① 総 III-2-A,D,F
8	4/20	頸神経、浅層の筋	1. 頸部の皮膚を広頸筋を損傷しないように剥ぎ、広頸筋を剖出して説明できる。 2. 外頸静脈、前頸静脈を剖出し、鎖骨下静脈との関係を説明できる。	頸部皮膚のオトガイ側からの皮剥。広頸筋、頸部静脈の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(3)-③ 総 III-2-A,D,F
9	4/20		1. 鎖骨上神経、頸横神経、大耳介神経、小後頭神経を剖出し、その分布と胸鎖乳突筋との位置関係を説明できる。 2. 胸骨舌骨筋、顎下腺を確認し顎下三角との関係を説明できる。	頸神経の剖出と観察をする。 頸神経と胸鎖乳突筋との位置関係の観察をする。 前頸部の浅層の筋と顎骨下部の顎下腺の観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(5)-① 総 III-2-A,D,F
10	4/27	顔面浅層と上腕に分布する皮神経	1. 表情筋の相互の位置関係を説明できる。 2. 耳下腺と顔面神経の位置関係と顔面神経に分布を説明できる。 3. 顔面浅層に分布する動脈を説明できる。 4. 上腕の皮神経と皮静脈の走行と分布を説明できる。	D P285~287、38~39提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,D,F
11	4/27		1. 表情筋・耳下腺を損傷しないように顔面の皮膚の皮剥を行うことができる。 2. 耳下腺とその導管を剖出して腺傍の広がり導管の走行を説明できる。	顔面の皮剥と耳下腺の剖出および観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,D,F
12	4/27		1. 表情筋を剖出して相互の位置関係を説明できる。 2. 顔面動脈、浅側頭動脈、眼窩下動脈、眼窩上動脈を剖出して相互の位置関係と分布を説明できる。 3. 上腕の皮神経を剖出して説明できる。	表情筋の剖出と観察をする。 顔面浅層の動脈の剖出と観察をする。 上腕皮神経の剖出をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員 金 承革、森山浩志	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,D,F
13	5/11	腹壁前部と側部の筋	1. 側腹筋の層構造と筋層間に分布する神経を説明できる。 2. 腹直筋鞘と腹直筋、錐体筋の特性と筋鞘の構造を説明できる。 3. 大腿前面の筋の起始停止、血管神経の分布を説明できる。	D P94~104 提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-A,D,F
14	5/11		外腹斜筋、内腹斜筋、腹横筋を剖出して筋層間に分布する神経を説明できる。	側腹筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,D,F
15	5/11		1. 腹直筋鞘の前葉を剖出して、その線維構成を説明できる。 2. 腹直筋と錐体筋を剖出して筋の特性を説明できる。 3. 腹直筋鞘の後葉を剖出してその特性を説明できる。 4. 縫工筋、大腿四頭筋、薄筋、内転筋、腸脛靭帯を剖出して分布する血管・神経を説明できる。 5. 大腿動静脈、大腿神経を剖出して走行と主な枝を説明できる。	腹直筋鞘と腹直筋の剖出と観察をする。 大腿前面の筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,D,F

授業計画〈実習〉						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	5/18	深頸部と前頸部の筋・脈管・神経 および咀嚼筋	1. 斜角筋群と斜角筋隙、舌骨下筋群と舌骨上筋群を説明できる。 2. 頸動静脈とその枝、周囲に走行・分布する神経を説明できる。 3. 咀嚼筋群と筋相互の位置関係、骨・関節との位置関係を説明できる。	D P26~39、279~289、317~323 提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ D-2-3)-(3)-③ 総 III-2-A,D,F
17	5/18		胸鎖乳突筋の筋腹を切断して内頸静脈・総頸動脈とその枝、頸神経ワナ・迷走神経を剖出して説明できる。	内頸静脈、総頸動脈、迷走神経、頸神経ワナの剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-A,D,F
18	5/18		1. 前中後の斜角筋を剖出して腕神経叢、鎖骨下動脈との位置関係を説明できる。 2. 舌骨下筋群を剖出してその起始停止と働きを説明できる。 3. 咀嚼筋を剖出して筋相互の位置関係を説明できる。 4. 咀嚼筋の起始停止を剖出して下顎骨・顎関節との相互の位置関係を説明できる。 5. 顎動脈、顎関節の剖出し、説明できる。	斜角筋群の剖出と同筋と斜角筋隙の観察をする。舌骨下筋群の剖出と観察をする。 咀嚼筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ 総 III-2-A,D,F
19	5/25	開胸と開腹	1. 肋間筋と肋骨の関係を説明できる。 2. 胸腔、胸腔内臓とその相互の位置関係を説明できる。 3. 胸膜と胸膜腔を説明できる。 4. 腹腔、腹腔内臓とその相互の位置関係を説明できる。 5. 腹膜と臓器の位置関係を説明できる。	D P104~118。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-④ D-2-3)-(7)-② 総 III-2-B,D,F
20	5/25		1. 肋間筋を剖出して肋骨との位置関係を説明できる。 2. 胸膜を剖出、切開して胸膜腔と肺の位置関係を説明できる。 3. 心膜を剖出、切開して心臓と心膜腔と関係を説明できる。 4. 大血管と気管・気管支、食道の位置関係を説明できる。	肋間筋の剖出と観察をする。 開胸と胸腔内臓、胸膜の観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(3)-① D-2-3)-(7)-② 総 III-2-A,D
21	5/25		1. 前腹壁を切開、開腹して臍ヒダを説明できる。 2. 消化管を剖出し、区別して説明できる。 3. 消化腺を剖出し、消化管、腹膜との関係を説明できる。 4. 元位置における腹腔内臓の臓器間相互の位置関係、臓器と腹膜、腹壁の相互の位置関係を説明できる。	開腹と腹腔内臓、腹膜の観察をする。 元位置における腹腔内臓、胸腔内臓の観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,D
22	6/1	胸腹部内臓の摘出	1. 胸腹部内臓の相互の関係と胸膜・腹膜との関係を説明し、その構造に基づいて臓器の切除、摘出ができる。 2. 後胸壁、後腹壁と脈管、神経、泌尿器の位置関係と相互の関係が説明できる。	D P118~120、128~129、138~143。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(3)-① D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,C
23	6/1		1. 肺を胸膜、大血管とのつながりに基づいて切除、摘出して切断部でつながりを説明できる。 2. 心嚢を切開して心臓、心膜、大血管のつながりを説明して、切除、摘出できる。	肺、心臓の周囲構造とのつながりの観察と切除、摘出をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(3)-① D-2-3)-(7)-② 総 III-2-A,B,C
24	6/1		1. 消化管、消化腺を臓器相互のつながりと、大血管、腹膜とのつながりに基づいて説明して切除、摘出できる。 2. 胸腹部内臓を摘出した後の後胸壁において血管、食道、神経を剖出して説明できる。 3. 後腹壁において血管、腎臓、尿管を剖出して説明できる。	消化管、腹腔内消化腺と周囲構造のつながりの観察と切除、摘出をする。 臓器摘出後の体幹後壁の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(6)-① 総 III-2-A,B,C
25	6/8	泌尿生殖器、 摘出臓器	1. 泌尿生殖器の相互の位置関係を説明して摘出できる。 2. 摘出した胸腹部内臓の内部構造を説明できる。	D P176~184、159~177、120~139。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(9)-① D-2-3)-(10)-① 総 III-2-D,E
26	6/8		1. 骨盤内臓器（泌尿器、生殖器、直腸）を剖出して説明できる。 2. 剖出した骨盤内臓の相互の位置関係を説明し、位置関係に基づいて切除、摘出できる。	骨盤内臓の剖出と観察する。 骨盤内臓の相互の位置の観察と摘出をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(9)-① D-2-3)-(10)-① 総 III-2-D,E
27	6/8		1. 結腸と小腸の内腔を開き粘膜構造を説明できる。 2. 一括摘出された胃・十二指腸・脾臓・膵臓の十二指腸を開き、胆管・膵管とのつながりを説明できる。 3. 肝臓の実質を崩し肝内血管の構造を説明できる。	消化管、消化腺の内部構造の剖出と観察をする。消化管と消化腺のつながりの剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(6)-①~③ 総 III-2-D,E
28	6/15	腰方形筋、腸腰筋、 脊柱起立筋	1. 脊柱起立筋と脊柱・骨盤との関係を説明できる。 2. 腰方形筋、腸腰筋と脊柱・骨盤・大腿骨との関係を説明できる。	D P83~87、190~194。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
29	6/15		胸腰筋膜と固有背筋を剖出し、脊柱・骨盤との関係を説明できる。	胸腰筋膜と固有背筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
30	6/15		1. 腰方形筋、腸腰筋を剖出して、脊柱・骨盤・大腿骨との関係を説明できる。 2. 腰筋をむしり取って腰神経叢を剖出して、その走行と分布を説明できる。 3. 腰椎を切断できる。	腰方形筋と腸腰筋の剖出と観察をする。腰神経叢の剖出と観察をする。 腰椎切断をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-①~④ 総 III-2-A,F

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
31	6/22	上腕筋、腕神経叢、前腕筋、腕部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋	1. 上腕三頭筋の起始停止について説明できる。 2. 腕神経叢の神経幹、神経束、鎖骨下動脈の相互の関係を説明できる。 3. 上腕の血管について説明できる。 4. 臀部の筋、大腿後面の筋、下腿の筋と同部の血管・神経について説明できる。	D P38~55。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
32	6/22		1. 上腕三頭筋を剖出して起始停止について説明できる。 2. 腕神経叢を剖出して神経幹、神経束、正中神経、筋皮神経、尺骨神経、橈骨神経、腋窩神経を説明できる。 3. 上腕の動脈と静脈を剖出して説明できる。	上腕の筋、神経、血管の剖出と観察をする。腕神経叢の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(3)-③ 総 III-2-A,F
33	6/22		1. 前腕の伸筋群と屈筋群を剖出して説明できる。 2. 前腕の動脈、静脈、神経を剖出して説明できる。 3. 臀部の筋を剖出して説明できる。 4. 坐骨神経を剖出して筋との関係を説明できる。 5. 大腿後面の筋を剖出して説明できる。 6. 下腿の筋を剖出して説明できる。大腿と下腿の動脈、静脈、神経を剖出して説明できる。	前腕の筋、神経、血管の剖出と観察をする。臀部の筋と神経の剖出と観察をする。大腿後面、下腿の筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① D-2-3)-(5)-① 総 III-2-A,F
34	6/29	手の筋と前腕の筋足の筋と下腿の筋	1. 前腕の筋と手部の骨との関係を説明できる。 2. 手部の内部の筋とその起始停止について説明できる。 3. 下腿の筋と足部の骨との関係について説明できる。 4. 足部の内部の筋とその起始停止について説明できる。	D P57~73、218~226。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
35	6/29		前腕の筋を筋腹から手部に連絡する腱まで剖出して、骨とのつながりと機能を説明できる。	前腕筋の起始から停止までの剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
36	6/29		1. 下腿の筋を筋腹から足部に連絡する腱まで剖出して、骨とのつながりと機能を説明できる。 2. 手部、足部の内部の筋を剖出して骨とのつながりと機能を説明できる。	下腿筋の起始から停止までの剖出と観察をする。手部、足部の筋の剖出と観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(2)-① 総 III-2-A,F
37	7/6	脳	1. 延髄、中脳、間脳、終脳の外表面の名称と機能が説明できる。 2. 脳下面で脳神経を区別して説明できる。	D P351~393。提示カメラを用いて解説を行う。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-F
38	7/6		1. 脳の外表面において観察できる構造を区別して説明できる。 2. 脳下面において脳神経の神経束を区別して説明できる。	脳外表面の観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-F
39	7/6		1. 脳を正中矢状断して、断面において延髄、中脳、間脳、終脳を区別して説明できる。 2. 矢状断面において脳室のつながりを説明できる。 3. 間脳、終脳を前頭断して、前頭断面において皮質、髄質、大脳核、島等を区別して説明できる。	脳の正中矢状断と正中矢状断面の観察をする。間脳、終脳の前頭断と前頭断面の観察をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)-(5)-④ 総 III-2-F
40	7/13	総合復習	全身の脈管、神経のつながりを心臓、脳・背髄を中心に説明できる。	大血管の枝、脊髄神経を分岐部から追跡確認する。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3) 総 III-2-A-H
41	7/13		骨格筋を肩関節、肘関節、股関節、膝関節、手根関節、足根関節との関係で理解できる。	主な関節周囲を構成する筋とその構成を確認する。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3) 総 III-2-A-H
42	7/13		内臓を器官系毎に説明できる。	呼吸、消化、循環等の器官系毎に確認をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3) 総 III-2-A-H
43	7/20	総括	これまでに観察、確認してきた人体の構造を実習体において説明できる。	実習体を用いた問題に回答する。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3)
44	7/20		三叉神経について解剖学的特性、機能を説明できる。	実習体、標本上に示された構造の説明をする。	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3) 総 III-2-A-H
45	7/20		三叉神経について解剖学的特性、機能を説明できる。	//	飯村 彰 肉眼解剖学分野教室員全員	D-2-3) 総 III-2-A-H